



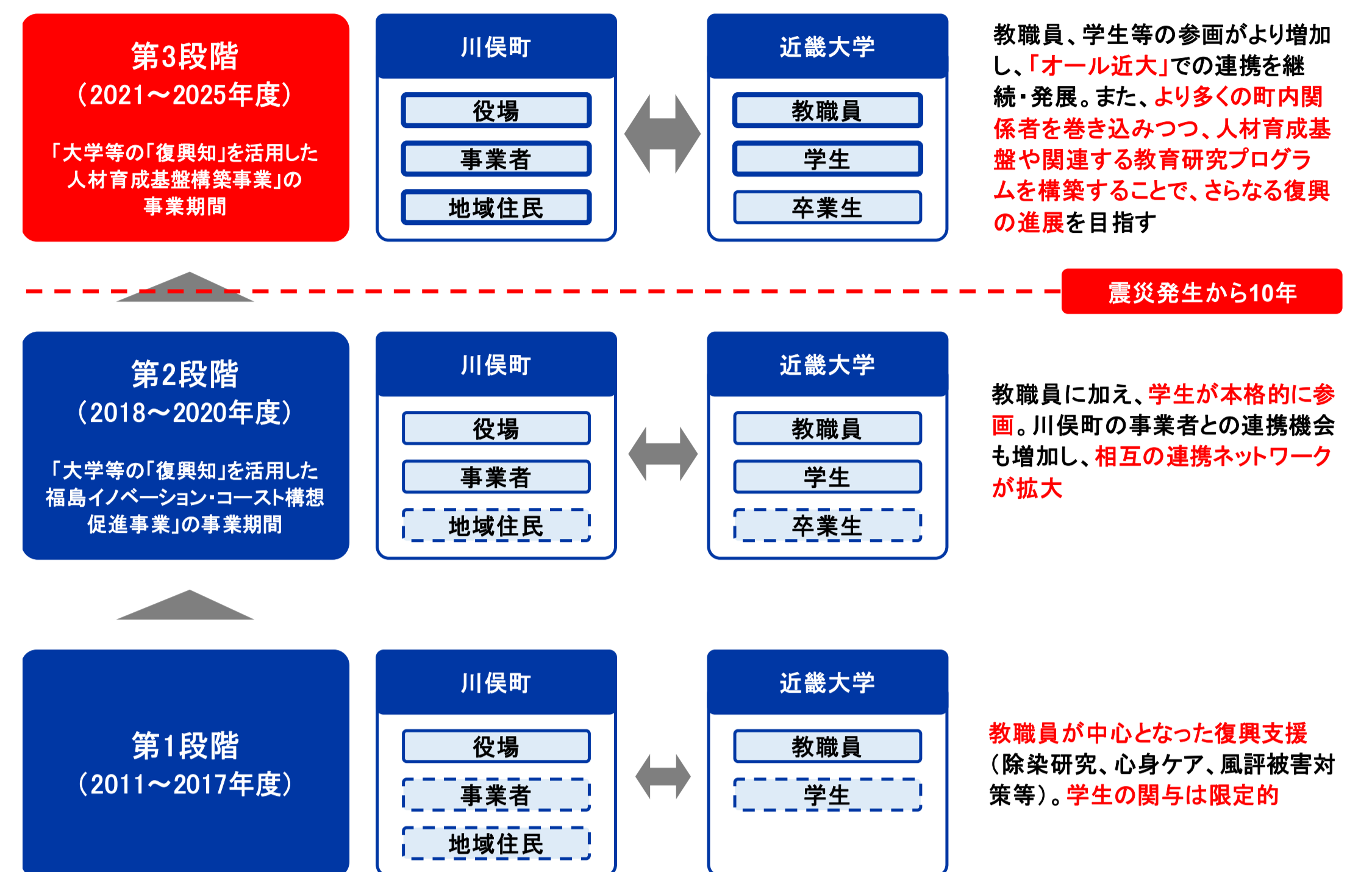
近畿大学

“オール近大”川俣町発・復興人材育成プロジェクト

事業概要

- 川俣町とのこれまでの連携蓄積をもとに、総合大学としての研究力・教育力・発信力を活かしつつ、近畿大学の総力を挙げて、“オール近大”で事業を実施する
- 複数の重点分野（A：農業・食、B：原子力・除染・リスクコミュニケーション、C：観光、D：集落復興・コミュニティ再生、E：SDGs）を設定し、川俣町を拠点に、学生、地域関係者の双方を対象とした教育研究プログラムを開発し、小中学生～社会人までの様々なターゲットに対して適用（実施）する

川俣町・近畿大学の連携による復興関連活動の進展



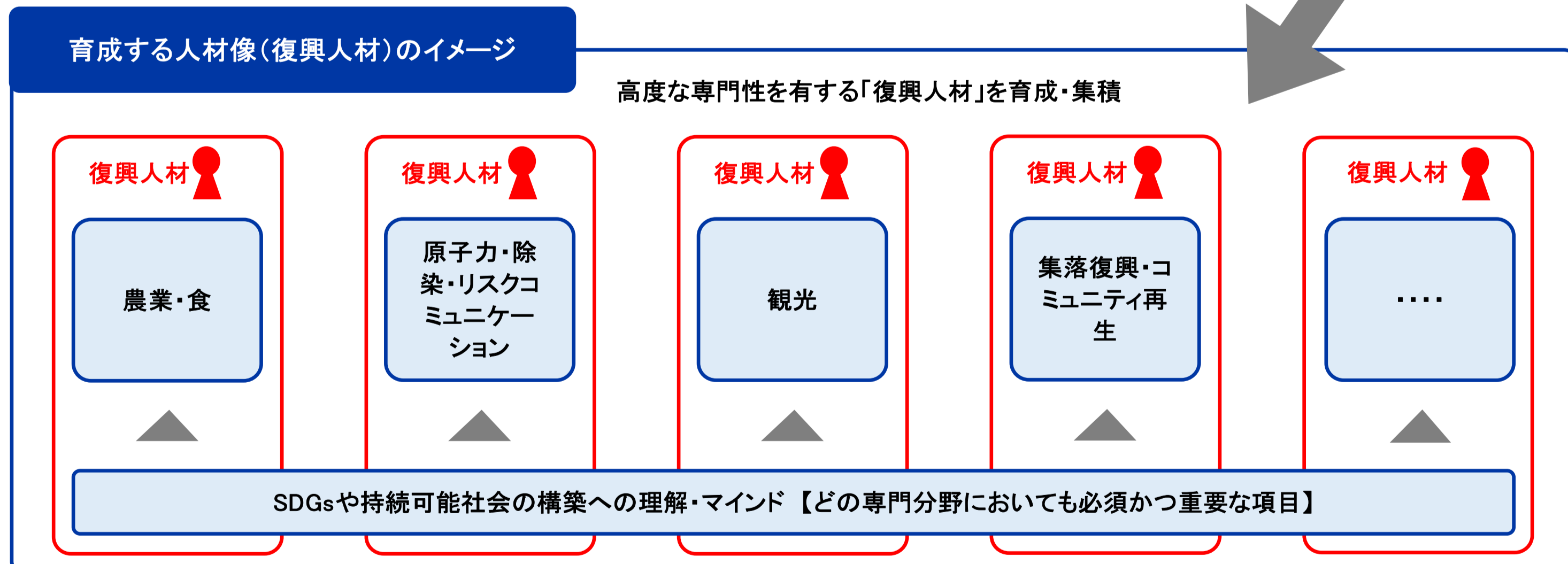
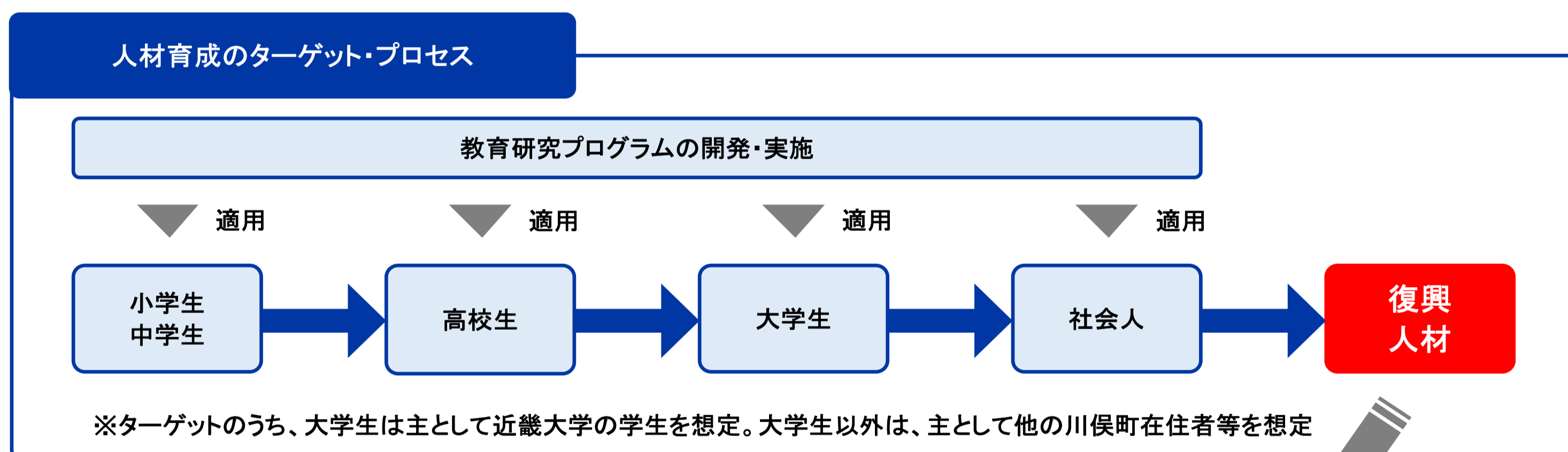
市町村との連携体制の構築及び5年間の人材育成目標

【連携体制】

- 「川俣町発 復興人材育成検討会」の開催（年3回程度）等を通じて、川俣町関係者（役場、事業者、住民、学校関係者等）との連携体制を構築

【人材育成目標】

- a)学生、b)地域関係者の双方を対象とした教育研究プログラムを開発し、様々なターゲットに対して適用（実施）
- SDGsや持続可能社会の構築への理解・マインドを有し、かつ、震災復興や福島イノベーション・コースト構想の実現に寄与する多種多様な専門性を有する未来志向の「復興人材」の育成・集積を図る



今年度（2021年度）の活動内容と課題

1 人材育成目標の設定

- (1) 川俣町関係者との連携体制の構築（「川俣町発 復興人材育成検討会」の開催 等）
- (2) 人材育成目標の設定

2 教育研究プログラムの開発・実施

※座学、演習、フィールドワーク、共同研究、商品開発等の形態で実施

- A：農業・食関連（「川俣町発 地域資源を活用した商品開発」等）
- B：原子力・除染・リスクコミュニケーション関連（「川俣町発 放射線・環境調査教育」等）
- C：観光関連（「川俣町発 地域資源を活用した観光開発」等）
- D：集落復興・コミュニティ再生関連（「川俣町発 集落復興・移住定住推進プロジェクト」等）
- E：SDGs関連（「川俣町発 SDGs推進プロジェクト」等）

3 市町村分科会（川俣町の幹事校を担当）

【活動例】



【主な課題】

- ・コロナ禍における活動展開（訪問、関係者とのやりとり）
- ・本PJの周知・認知度向上、関係者のニーズの把握
- ・他大学・周辺地域との連携強化 等

2年目（2022年度）の事業内容及び取組の方向性

- 「人材育成目標の見直し」「教育研究プログラムのさらなる開発・実施」「市町村分科会」等を通じて、本PJをより一層進展させていく
- 「教育研究プログラム」では、「川俣町での農業実習／インターンシップ／スタディツアー」や「大学・地域連携学講座」、「観光関連のビジネスプラン開発」等の新規プログラムの開始を検討中